

県立西宮高等学校 CAN-DO リスト 2019.3.改訂

○ 育成したい英語力・生徒像

英語を通じて情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う
異文化交流に積極的な姿勢を養い、英語によるコミュニケーションを通じて日本文化を発信する力や異文化理解を深める。

○ 各年次の学習到達目標

	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
1年次	5	5	5	5
2年次	8	8	8	8
卒業時	10	10	10	10

年次別 到達目標	聞くこと	話すこと		読むこと	書くこと	
		[やりとり]	[発表]			
1年次	4	・ゆっくり話されたら、ALTの説明を理解することができる。 ・地図を参考にしながら、すでに習った表現を使った道案内に従って、目的地までの道順を理解することができる。	・簡単な表現を用いて、待ち合わせなどの約束をすることができる。 ・自分が学んだことや経験したことであれば、簡単な表現を用いて、述べるすることができる。 ・自分の将来の夢や希望について、話すことができる。	・身近な話題について、準備をした上で、簡単なスピーチをすることができる。 ・自分が学んだことや経験したことであれば、簡単な表現を用いて、述べるすることができる。 ・自分の将来の夢や希望について、話すことができる。	・簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を、単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。 ・簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を、イラストなどの補助を用いて理解することができる。 ・すでに習った英文を、発音やリズム、イントネーションに注意しながら、音読することができる。	・辞書を使えば、簡単な内容の日記や、自分の経験を短い文で書くことができる。 ・数字(3ケタ以上)を書くことができる。 ・日常生活での出来事や学校生活の感想を、簡単な表現を使って短い文で書くことができる。 ・すでに習った英文要約文の穴埋めを完成することができる。 ・すでに習った英文を、和訳を参考に再生することができる。
	5	・日本の駅や空港で、簡単な英語のアナウンスを聞いて、内容を理解することができる。 ・授業で聞く天気予報や空港のアナウンスを、何度か聞けば、60～70%程度理解することができる。	・よく知っている場所であれば、地図や道案内を見ながら、道順を教えることができる。 ・比較的ゆっくり話されれば、自分のスピーチに対する質問に答えることができる。 ・教科書の本文の内容に関連した質問に答えたり、自分の考えを述べるすることができる。	・すでに習った表現を使って、リズムやイントネーションに注意して、話すことができる。 ・すでに習った英文スクリプトを見ながら、音声に合わせて発音することができる。(オーバーラッピング) ・すでに習った英文スクリプトを見ずに、音声に少し遅れて発音することができる。(シャドーイング)	・簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を読み、流れを理解しながら、内容を整理することができる。 ・簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を読み、80%以上理解することができる。 ・簡単な英語で書かれたチラシやポスターの情報を80%以上読み取ることができる。	・身の周りの出来事、趣味、場所など、自分に直接関係があることならば、簡単な説明文を書くことができる。 ・将来の夢や現在の高校生活の様子やこれまでの思い出などに関する文を書くことができる。 ・簡単な表現を使って、個人的な内容(メール、招待状など)や、写真、事物の説明文を書くことができる。 ・教科書で習った表現を使って、1～2パラグラフの文を書くことができる。
2年次	6	・すでに習った少し長い英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・ALTによるインタビューテストなどで、日常生活や身近な話題に関する質問の内容を60～70%程度理解することができる。 ・ゆっくり話されたら、自分が知らない外国の行事や習慣についての説明を理解することができる。	・身近な話題について、簡単な表現を用いて、個人的な意見を述べたり、友人と情報を交換することができる。	・教科書で習った話題について、キーワードを頼りに、内容を大まかに説明することができる。(ヘアーク) ・身近な話題について、簡単なプレゼンテーションをすることができる。	・簡単な英語で書かれた身近な話題に関する調査・結果・グラフなどを80%以上理解することができる。 ・まとまりのある説明、評論、物語、随筆などの内容を理解し、概要や要点を理解することができる。 ・すでに習った英文を、感情を込めて聞き手に内容が伝わるように音読することができる。	・聞いたり読んだりした内容に関して、簡単な単語を使って、感想や意見を短く書くことができる。 ・簡単な単語や文法を使って、近況を伝える個人的な手紙を書くことができる。 ・自分の住んでいる町や国の名所や文化を説明する文を書くことができる。
	7	・授業で聞く天気予報や空港のアナウンスを、何度か聞けば、80%以上理解することができる。 ・日本語の字幕を参考にすると、映画のセリフで使われているフレーズを聞き取ることができる。 ・映画やテレビドラマの会話の流れを部分的に理解することができる。	・身近な話題についての友人のプレゼンテーションを聞いて、内容について簡単に質問をすることができる。	・教科書で習った話題について、自分の意見を述べる ことができる。(ヘアーク) ・旅行や行事など、印象に残った出来事について、話す ことができる。 ・短い読み物や記事を読んで、メモがあれば概要を説明 することができる。	・まとまりのある説明、評論、物語、随筆などを読み、各段落のキーワードを探し、それを手がかりに内容を60～70%程度理解できる。 ・まとまりのある説明、評論、物語、随筆などを読み、各段落のトピックセンテンスやメインアイデアを理解することができる。 ・まとまりのある説明、評論、物語、随筆などを読み、各段落の内容や筆者の主張を理解することができる。	・身近な話題や経験したことに関して、簡単な理由を示しながら、賛成・反対の意見を書くことができる。 ・自分のやりたいことや学びたいことの志望動機や説明を書くことができる。 ・用途や目的にあったメールを書くことができる。 ・教科書で学んだ文法を使って、短いエッセイを書くことができる。
	8	・自然なスピードで話されても、身近な話題なら、日常生活での会話を理解することができる。 ・ALTによるインタビューテストなどで、日常生活や身近な話題に関する質問の内容を80%以上理解することができる。	・身近な社会問題について、自分の意見を簡単に述べる ことができる。	・少し長めの読み物や記事を読んで、キーワードを頼りに、内容を大まかに説明することができる。 ・身近な話題であれば、要点をまとめながら、1分間程度で話すことができる。	・比較的長い説明、評論、物語、随筆などを読み、80%以上理解することができる。 ・比較的長い説明、評論、物語、随筆などを読み、全体から筆者の主張や論旨を理解することができる。 ・英語圏の小学生向けの物語や、童話、小説を、辞書を使わずに語彙を想像しながら読める。	・文と文を and, but, because などをつないだり、時間、場所や条件などを追加しながら、正確な情報を備えた文を書くことができる。 ・新聞記事や自分が観た映画に関して、自分の意見や感想を書くことができる。 ・聞いたり読んだりした内容に関して、概要を書くことができる。
3年次	9	・自然なスピードで話されても、日常生活での会話を理解することができる。 ・海外のニュース(BBC・CNNなど)を聞いて、映像を参考にすると、内容を部分的に理解することができる。 ・映画やテレビドラマの会話の流れを理解することができる。	・接客や電話で相手とやりとりする対話を作成し、発表 することができる。 ・身近な話題や社会問題について、準備をした上で、簡単な議論をすることができる。[ディベート]	・模造紙や絵図、パワーポイントなどを使って、商品広告やコミックを作成し、プレゼンテーションをすることができる。	・社会的な問題に関する連続した複数の段落から構成される英文を読み、各段落の内容を理解し、英文の流れを把握することができる。 ・日本の英字新聞(The Japan Times/The Japan Newsなど)で身近なテーマや興味のある内容の短い記事を80%以上理解することができる。 ・概要や要点を把握するために流し読みをしたり、自分が欲しい情報を拾いながら目的に応じて読むことができる。(スキミング)	・時間の流れに従って、旅行記、自分史、身近なエピソードなどを書くことができる。 ・いくつかのパラグラフを使い、流れが分かる文章を書くことができる。 ・日本や自分が住んでいる地域の伝統文化を詳しく紹介する文章を書くことができる。
	10	・自然なスピードで話されても、天気予報や空港のアナウンスを60～70%程度理解することができる。 ・プレゼンテーションやディベートで、身近な話題であれば、長い話や複雑な議論の流れを60～70%理解することができる。 ・海外のニュース(BBC・CNNなど)を聞いて、映像を参考にすると、内容を60～70%程度理解することができる。	・友人のスピーチやプレゼンテーションを聞いて、概要を理解したうえで、意見を述べたり、質問を投げかけることができる。[ディベート]	・身近な社会問題について、意見や論点を整理しながら、自分の考えを主張することができる。[ディベート]	・比較的長い説明、評論、物語、随筆などを読み、自分の意見と比較することができる。 ・社会的な問題に関する複数の英文を読み、内容の共通点・相違点を理解することができる。 ・レポート作成やプレゼンテーションのため、インターネット、雑誌、新聞から必要な情報を読み取ることができる。	・与えられた資料や図表に関して、適切な説明文を書くことができる。 ・目的、原因、結果、仮定などを示しながら、明瞭でわかりやすい内容の文章を書くことができる。